

もとむら相模原市政トピックス

10月22日で、もとむら市長が就任してから半年が経ちました。相模原から日本を変える!会では、前回の夏号で市長室の扉が公約どおりに透明になり、市民に開かれた市長室となつたことをお知らせしました。その後の主な市政トピックスをご紹介させていただきます。

◆もとむら市長の政策を推進する補正予算が市議会を通過

市長の政策を汲んだ予算がはじめて組まれました。総額約12億円となる補正予算案には、SDGs達成に向けた関連事業費や、人権条例制定検討費、補給廠一部返還地まちづくり案検討費、有害鳥獣対策、AIによる行政事務の情報化、障がい者雇用推進調査費、市民との対話型集会開催費などが盛り込まれており、市長選で訴えた7つの大項目を踏まえたものとなっています。

◆シビックプライド条例(仮)を検討

「相模原市の良さを多くの人に知ってもらいたい、市民にも市を好きになってもらいたい。そうした理念を掲げた条例になると思う」と市長が語るシビックプライド条例の制定に向け、検討委員会を立ち上げることが表明されるとともに専任の職員が配置されました。条例が制定されれば県内初となるそうです。

◆(仮称)相模原市パートナーシップ宣誓制度の創設へ

相模原市では、性的少数者(LGBT)のカップルをパートナーとして公的に認める「パートナーシップ宣誓制度」を来年度に創設する方針です。制度の考え方について、10月7日までパブリックコメントの募集が行われました。

◆まちかど市長室を3区で開催

市民の皆様と直接対話する「まちかど市長室」が3区で行われました。そのほかにも、各地区で行われるまちづくり懇談会(台風の影響で延期された地区もあります)にも市長本人が出席し、市民の皆様と直接対話を重ねています。

◆その他に

9月末に、伊勢丹相模原店が閉店しました。民間の判断ではありますが、市にとって重要な事柄。就任直後から、伊勢丹の社長をはじめ役員の方々と何度も面会し、市の要望を伝えてきたもとむら市長は、伊勢丹相模原店が29年の歴史に幕をおろす瞬間に立会いました。今後も自由通路の確保や、街のにぎわい創出のための商業施設展開を後押しすることです。

「相模原から日本を変える!」は、季刊です。直近の夏号では、市長室の扉がクリアになつたことや、所信表明演説をご紹介。号外として、小田急多摩線延伸特集号を発行いたしました。バックナンバーをご希望の方は事務局にご連絡ください。



相模原から日本を変える!会は、もとむら賢太郎市長を応援しています。

市長はSNSで活動更新中



つくる
幸せ色あふれる
相模原

相模原から日本を変える!

季刊・2019年秋号

台風第19号の被害に伴う もとむら市長からのメッセージ

令和元年10月12日、台風第19号が猛威を振るい、相模原市内でも甚大な被害を受けました。大変残念なことに、本市では6名の尊い命が犠牲となり、行方不明の方が未だ2名いらっしゃいます(11/2現在)。犠牲となられた方のご冥福をお祈り申しあげますとともに、そのご家族、ご関係者の皆様に心からお悔やみを申しあげます。そして、行方不明の方の捜索にあたっては、自衛隊・警察・消防等の皆様と共に引き続き全力を尽くしてまいります。また、今回の台風は、家屋倒壊、床上・床下浸水など多くの方の生活に影響をもたらしています。被災された皆様に心からお見舞い申しあげ、一日も早く安心して暮らせるよう力を尽くすことをお誓い申しあげます。

市民の皆様、企業・団体の皆様には、発災直後から様々な面でのご協力をいただいており、心から感謝申しあげます。私も災害対策本部長として、必要な対応策を検討・指示するとともに現地に足を運び、連日災害対策にあたっております。これまでに相模原市が経験したことがない状況のもと、同じ市内で被災されている方がいらっしゃること、ぜひとも皆様のお心を寄せていただきたく、オール相模原で災害復旧に取り組むことができるようご協力をよろしくお願ひ申しあげます。

私自身も市民の皆様に寄り添い、その先頭に立ってまいります。

相模原市長 もとむら賢太郎

もとむら市長は、発災直後から現場に足を運び、災害対策本部長として対応に当たっています。





台風第19号によって、津久井地域を中心に相模原市内も被災しました。1日も早い復旧を目指してもとむら市長は取り組んでいます。皆様のご理解・ご協力をお願いいたします。

10月29日、台風第19号による被害が、大規模災害復興法に基づく非常災害に指定されました。熊本地震に続く2例目のことです。

非常災害に指定されたことで、被災自治体から要請のあった道路の工事を国が代行することなどができるようになります。今回代行の対象となるのは長野県東御市や宮城県丸森町、福島県いわき市などの6自治体で、相模原市も含まれます。

相模原市では、来年予定されている東京オリンピックの自転車ロードレースのコースにもなっている国道413号が対象となります。国道413号は、緊急輸送路でもあり、一日も早い復旧に向けた国の支援を、もとむら市長から菅官房長官や赤羽国土交通大臣、武田防災担当大臣に要請してきたところでした。(上の写真参照)

あわせて、激甚災害にも指定されたことで、道路などの復旧事業に対する国庫補助率があがり、復旧が進むことが期待されます。

もとむら市長は、発災直後より、連日にわたりて被災された地域に足を運び、現場の

声を聞き、または市役所において災害対策本部長として災害対応の先頭にたって対応にあたっています。現場の写真は、日々もとむら市長のSNSでも更新されていますが、その一部を本紙面でも紹介させていただいております。

そして、現場の職員の皆様、市内外からのボランティアの皆様、自衛隊、警察、消防、国、県、他の自治体など様々な方が相模原市に応援に駆けつけてくださっています。

同じ市内で、被災された方がいます。市内の被災状況については右に示したとおりです。そして、今もなお日常生活に戻れない方がいらっしゃいます。オール相模原で1日も早い復旧を目指していくため、相模原から日本を変える!会も力を尽くしてまいります。



台風第19号で被災された方への各種支援が用意されています。(下記は一例) 詳細は市のホームページや、広報さがみはらでご確認ください。

●住宅支援の一例

- ・土砂混じりがれきなどを市が撤去
→土砂などが堆積した居住用宅地を所有する個人または中小企業の方が対象です。
- ・みなし仮設
→住居が被害を受け、住むことができない方や二次災害の恐れがある方等に向けて、民間賃貸住宅を市が借り上げる制度です。
- ・応急修理
→大規模半壊・半壊となった住宅の日常生活に欠かせない部分を市が応急修理します。
- り災証明の発行について:各区役所、まちづくりセンター、各出張所で対応中です。
なお、津久井・相模湖・藤野まちづくりセンターで土日(10時~15時・12/1まで)も対応中です。

相模原市内における被災状況

(令和元年11月2日17時発表)

※速報値のため、変更される可能性があります。

1)人的被害

死傷者数合計 11名
(死者6名、行方不明2名、重症1名、軽症2名)

2)住宅被害

合計 183棟

区分	棟数	世帯数	人数
全壊	24	調査中	調査中
半壊	42	調査中	調査中
一部損壊	56	調査中	調査中
床上浸水	10	調査中	調査中
床下浸水	51	調査中	調査中

※「一部損壊」「床上浸水」「床下浸水」の区分の数値は、被害認定調査前のものや罹災証明が今後提出される見込みのもの、住家・非住家が明確でない建物などを含んだ概数となります。

3)その他の被害

道路 322箇所 崩くずれ 146箇所

○当日の総雨量

緑区: 761.0mm (鳥屋/10日22:13~12日21:08)
中央区: 390.5mm (相模原消防/10日21:58~12日21:15)
南区: 376.0mm (大沼/10日21:53~12日21:18)

が災害に関する緑区相模原・津久井・相模湖・藤野のまちづくりセンターに設置されています。



※雨天などで実施しないこともありますので、前日をご確認ください。相模原市社会福祉協議会のtwitterやブログでもご確認いただけます。

日頃からの災害への備えはとても重要です。正確な情報に基づいて判断するために、「さがみはらメールマガジン:防災」などにご登録を!
もちろん、もとむら市長のSNSでも情報発信しています。

◆さがみはらメールマガジン「防災」への登録方法
右QRコードから空メールを送信すると仮登録できます。
または、下記アドレスへ空メールを送信して仮登録してください。
entry-sagamihara@bousai-mail.jp



相模原市への災害義援金/災害支援寄附金/災害ボランティアの募集がされています!

《災害支援寄附金》

◆ふるさと納税を利用して

「楽天ふるさと納税」(1,000円~)または「ふるさとチョイス」(5,000円~)

※税額控除の対象となりますが、返礼品はありません。

《災害義援金》

◆市の施設などの義援金箱で

市役所、区役所、まちづくりセンターなどに義援金箱が設置されています。

◆口座振込みで

・ゆうちょ銀行・郵便局

口座番号:00120-4-392790

加入者名:「相模原市令和元年台風第19号災害義援金」

・横浜銀行 相模原駅前支店

口座番号:普通 6216764

口座名義:「相模原市令和元年台風第19号災害義援金」

《ボランティア》

下記の3箇所で募集しています。

津久井地区センター 080-6875-8782

相模湖地区センター 080-6875-8783

藤野地区センター 080-6875-8784

